

広報

ひたち
おおた

特集 雪村うちわ・かな料紙
伝えたい技がある P2~5

おめでとうございます P6

エコミュージアム通信 P8

文化財見どころガイド P9

健康でいこう「むし歯予防」 P10

地域おこし協力隊がゆく！ P13

ひたちおおたでくでくウォーク P18

ボランティアがんばってます！ P19

【名人が作る伝統のうちわ】

平成24年(2012)

6

月号

No.607

【特集】 雪村うちわ・かな料紙

伝えたい技がある

— 常陸太田に息づく伝統文化 —

先人たちの努力により、古くから連綿として受け継がれてきた伝統文化。現在、住民の力により各地で伝統的な行事が復活している一方、失われていく伝統文化も少なくありません。市では、地域の宝・魅力・誇りである伝統文化の保存・継承を支援しています。今月号では、文化財等に指定されている特に貴重な「伝統工芸」にスポットを当て、その匠の技を受け継ぐ人たちを紹介します。

かな料紙

室町時代に生まれ、徳川光圀公も愛用したと伝えられる「雪村うちわ」。

平安時代の雅な世界を再現する、書道のかな文字用紙の「かな料紙」。

このほか、市内には数多くの伝統文化が残っています。芸能では「天神ばやし」や「田楽舞」。陶芸では「町田焼」。食文化では「凍みこんにやく」や「ちまき」など…。

7月号からは、新シリーズ『伝えたい技がある』の中で、皆さんと一緒に常陸太田の魅力を再発見していきたいと思えます。

雪村うちわ

Traditional handicrafts

雪村うちわ

SESSON UCHIMA

画僧雪村の想いを今に伝え、約500年の伝統を守る。県郷土工芸品指定。

この道70年以上

「手仕事だけに遊んでいられません、何かしら作業をしていないと。手間隙かけてやらないとできないんですね」やさしい語り口の中にも、うちわづくりにかける情熱が伝わってきます。坏さんは、子供のころからお父さんのお手伝いでうちわづくりを始め、もう70年以上のキャリアです。

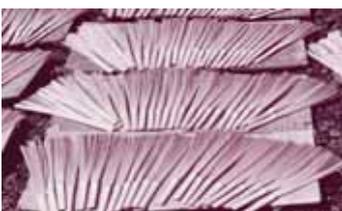
遠く室町時代に画僧・雪村がはじめ



坏 總子さん
Akutsu Fusako (埴町)

製造工程

- 裁断・節もみ 丸い竹を切り、中の節をとり、皮と身を切り離す
- 荒割り・肉取り 扇の部分の骨をつくるため、竹に刃を入れ40本に裂く。
- 刃入れ 柄と扇の境目の節の部分に穴を開ける。
- 骨しぼり この間10カ月天日干しする。
- 穴あけ・柄仕上げ 穴を開けたところに細い竹(横手)を通す。
- 横手 横手と骨をイグサで編む。
- 窓作り 両面に和紙を張って余分の骨を切り、縁取りの紙を張る。
- 紙張り・乾燥
- 型抜・へり張り



1,000本以上の骨を干す



イグサで骨を編んでいく

た「雪村うちわ」。雪村が瑞龍町の耕山寺に住んでいたときに、近隣の方たち配ったのが起源といわれます。その伝統のうちわを受け継ぐのは、もう坏さんの「柶儀団扇店」のみとなりました。200年続く坏さんのお店は、總子さんで4代目。大正時代までは4〜5軒あったそうですが、昭和になってからは坏さんのお店だけに。



33の工程を一人で

このうちわ作りには33の工程があり、すべての作業を坏さんが一人で行います。

材料の竹は市内の真竹を使用。紙は常陸大宮市の西ノ内和紙。のりは小麦粉から作っています。

「刃入れと骨しぼりが一番難しいですね」幅約2・5センチの竹が坏さんの手で均等に40本に裂かれていきます。40本に裂かれた骨はイグサで1本1本編まれていきます。その手の動きの早さはあつげにとられるほど。

完成まで1年

骨の天日干しは10カ月を要します。「お天気に注意しながら毎日干しています。雷がある夏場は曇ってきたら取り込みます」干すことで虫がつかず、カビの発生

もない丈夫なうちわができるといいます。

扇の部分の絵柄は18種類。「かかし、なす、きゅうりなどは伝統の図柄です」そのほか水戸八景の絵はご主人が書き始めたそうです。「若い人向きに色紙を使ったり、俳句や絵を描くお客さんには絵柄を入れないものも作っています」。

数十年の耐久性

お客さんを大切にされる坏さんの人柄と伝統のうちわの良さに全国から注文が入るとのこと。「30年も同じものを使っているというお客さんもいます。こんなに長持ちでは商売になりませんね」と笑う坏さん。「休みの日には息子が手伝いに来てくれるんです」と話してくれました。伝統の技はこれからも継承されていきそうです。

かな料紙

KANA RYOUSHI

平安朝の優美な世界を今に再現する、全国でも稀有な職人が常陸太田にいる。市指定無形文化財「かな料紙」技術保持者。

かな料紙とは

書や絵を書くために使う紙を料紙といいます。「かな料紙」とは、書道のかな文字用紙のことで、平安時代から伝わる伝統的なものです。

草木からとった染料で色付けしたり、絵模様を刷り込んだり、金・銀の箔加工を施すなど、装飾されていることが特徴です。

千年以上前の『源氏物語絵巻』や『平家納経』などの有名な文献にも、かな料紙が使われています。現在も、書道家などが清書したり、展覧会に出品する際に広く使われています。

小室徳氏が製法を復元

明治32年、現在の常陸太田市大里町に生まれた小室徳氏(故人)は、東京や京都でかな料紙の製作技術を学び独立。

戦争の影響で昭和20年に郷里へ戻り、工房を構えました。

研究を重ね、製法を復活させた徳氏は、かな料紙、写経用紙の作製、また平家納経などの複製用紙も手がけました。徳氏のかな料紙は、当代一流の書家に愛用されたといえます。

継承される技術

徳氏により復元され、確立されたかな料紙製作の技術は、子の小室義久氏(故人)と小室清隆氏、孫の小室久氏、義久氏の子)の三世代にわたって継承されています。

義久氏は、初代・徳氏の長男。父の指導のもと、かな料紙製作技術の習得に励みます。

義久氏の作品は、有名書家から広く愛用され、手作りによるかな料紙製作の第一人者として高い評価を得ました。



小室清隆さん
Komuro Kiyotaka(大里町)

「かな料紙は奥が深い。一生かかって覚えるもの。今でも苦労しています」と語る小室清隆さんは、この道40年以上のベテラン。

初代で父の小室徳さんの三男で、徳さんから製作の技術を学びました。

「父は『自分で見て覚えなさい』と決して教えてくれなかった。けれど長男(義久さん)にはよく教えていました。きつと考えがあったのでしょ」と振り返ります。

「紙を買

う人は高いお金を払っている。失敗は許されない。完璧な仕事をしないと売れない」と語る小室さん。その美し



金箔を竹製の刀で縦横に刻む(大里町の工房にて)



均等な大きさの切箔が完成

「この仕事は、やればやるほど難しくなる。満足する仕事はなかなかできない。今後は、この仕事を受け継いでくれる人を育てていきたい」と将来の展望を話してくれました。娘さんとそのご主人も製作に携わっています。

平成24年1月、市指定無形文化財「かな料紙」技術保持者に認定。

料紙の主な種類等

染め紙

和紙を草木染で加工した紙。染料液にひたす浸け染め、刷毛で塗る引き染めなどの方法があります。



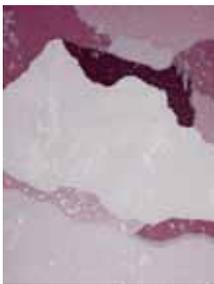
から紙（唐紙）

「ごふん（貝の粉）を下地にひいて版木で模様を刷った紙。平安時代中期に中国からもたらされました。



継ぎ紙

違う種類・色・装飾が施された料紙を継ぎ合わせたもの。のりしろは2ミリ程度。型紙を作り型抜きをしたり、とても繊細な技術で1枚の料紙を作るのに数カ月かかります。最終的にローラーをかけて段差をなくします。



箔加工

金・銀箔、砂子、野毛（金・銀箔の細く小さい線）などを散りばめる技法です。

「かな料紙の製作はもともと分業制。祖父が一人ですべてやるスタイルをはじめました」

久さんはかな料紙の製作を始めて約30年。祖父と父のスタイルを受け継ぎ、すべての工程を手作業で行っています。「一番難しい作業は、紙を染めるときに目的の色を出すこと」

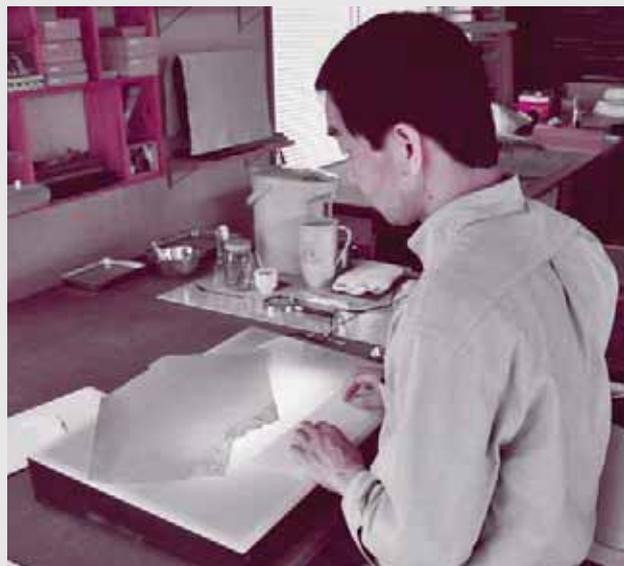
求める色が複雑で渋い色が多く、また草木染は天然の染料なので、木の状況や、煮出したときの様子などで色が違ってくる。また、「紙を作った後に、書くという行為があることを念頭に製作しなければならない」とその難しさを話してくれました。

一方「書道家の方などお客さんが満足してくれ喜んでもらったときはうれしい」とのこと。

平成24年1月には、市指定無形文



小室 久さん
Komuro Hisashi(大菅町)



継ぎ紙の作製（大菅町の工房にて）

化財「かな料紙」技術保持者に認定されました。

今後の抱負は、「ここまででよいということがない職業。より完成度を上げていきたいし、現在できない技術にも挑戦したい」。昔の技術で製法不明の技術も多いそうで、「まだまだ覚えたい」と向上心に燃える小室さん。今後ますますの活躍が期待されます。



楮の皮を煮詰めて染料をとる

○「かな料紙」は、市郷土資料館（☎72-3201）でご覧いただけます。

○10月には、同館で「かな料紙」をテーマに、企画展を開催する予定です。

常陸太田を彩る 先人の技



天神ばやし



町田焼



ちまき



凍みこんにやく

『広報ひたちおおた』7月号からは、新シリーズ「伝えたい技がある」がスタート。

伝統芸能や陶芸、農産物や食品など、常陸太田市に伝わるさまざまな伝統の技をリポートします。お楽しみに！

叙勲

おめでとうございます

永年にわたり、国家または公共に対し功労のある方、社会の各分野における優れた行いのある方などに贈られる「春の叙勲」、警察官や自衛官など、危険性の高い職務で社会に貢献した方に贈られる「危険業務従事者叙勲」、また「春の褒章」がこのほど発表され、本市からは次の方々が受章されました。

瑞宝双光章
春の叙勲

小倉美保子氏
(筆作町)

元調停委員。永年にわたり民事・家事紛争の解決に尽力された。

瑞宝双光章
危険業務従事者叙勲



井上裕彦氏(西宮町)

元常陸太田市消防監。永年にわたり消防活動に尽力された。

瑞宝双光章
危険業務従事者叙勲



和田光一氏(真弓町)

元2等陸尉。国の安全を保ち、公共の秩序の維持に尽力された。

旭日双光章
春の叙勲



井上正重氏(天下野町)

元常陸太田市議会議員。永年にわたり地方自治の推進に尽力された。

藍綬褒章
春の褒章



鴨志田 碩氏(小島町)

元統計調査員。永年にわたり農林業センサスをはじめとした統計調査に尽力された。

瑞宝単光章
危険業務従事者叙勲



富永好博氏(大里町)

元茨城県警部。永年にわたり公共の秩序の維持に尽力された。

瑞宝単光章
春の叙勲



興野 勉氏(上深荻町)

元常陸太田市消防団副団長。永年にわたり消防団活動に従事された。

スポーツ功労者表彰 各種競技優秀選手表彰

スポーツの発展に尽力された方や、各種競技で優れた成績を収めた選手たちが、市体育協会から表彰されました。

功労者

[敬称略]

小笠原一夫(相撲・寿町) / 豊田悦男(相撲・西三町) / 岡田次雄(相撲・木崎二町) / 島根寛治(剣道・松栄町) / 但野茂(剣道・松栄町) / 廣木廣美(剣道・松栄町) / 小山廣(地域スポーツ振興・町屋町) / 綿引益満(地域スポーツ振興・中野町) / 小林俊夫(地域スポーツ振興・新地町) / 窪田和枝(バレーボール・中城町)

競技優秀選手

陸上競技 半井清夫(三段跳、走幅跳・玉造町) / 稲田翔威(駅伝・西三町) バスケットボール 池元美沙希(内堀町) ターゲットバードゴルフ 鈴木仁(大方町) / 石井仁(大里町) / 後藤律子(大里町)



5月23日に生涯学習センターで表彰式が行われた



綿引健さん(中野町)

「公認スポーツ指導員の資格を取得して25年になります。表彰の重みに身の引き締まる思いです。今後も地域に根ざした活動を行い、スポーツの振興、生涯スポーツの普及のために努力していきます」

日本体育協会主催の全国公認スポーツ指導者研修会において、パドミントン上級指導員の綿引健さん(中野町)が公認スポーツ指導者表彰を受けました。

公認スポーツ指導者表彰

環境フォーラム

8月からゴミの23分別
スタート

市および市民環境会議主催の「環境フォーラム」が4月28日、生涯学習センターで開催されました。

新しいごみ分別区分やごみ減量化の提案、ペットボトル回収モデル事業についての事例発表がありました。

特に新しいゴミの23分別化と再資源化の推進については会場の出席者から多くの質問があり、関心の高さが伺われました。新しいゴミ分別は8月から行われる予定です。詳しくは広報ひたちおた7月号でお知らせします。



出席者から活発な意見が出された



回収ネット、回収コンテナなど

定年帰農者等
農業講座

定年を機に野菜の栽培を始めようとする方を対象にした、「定年帰農者等農業講座」が、4月27日に開講されました。

市、県北農林事務所、JA茨城みずほが連携し、市内の定年帰農者等を対象に、2年間で17回の講座・実習を予定しており、農業の基本技術の習得、農業の担い手育成や直売所等への出荷を目指しています。

受講者の皆さんは、「今まで自己流で野菜作りをしてきたが基礎から学びたい」、「定年を機に実家に戻り農業してみたい」などと話していました。



熱心に講義を聴く受講者の皆さん

自転車安全利用
キャンペーン

5月1日、太田警察署主催による「自転車安全利用キャンペーン」が行われました。JR常陸太田駅前広場において、佐竹高校生徒会や県地域交通安全活動推進委員など20人が参加し、街頭で自転車安全利用5則のチラシや反射器を配布しました。

また、停車自転車に対しては、走行中のイヤホン装着や反射器のない自転車などについて、運転マナー向上のため注意を促しました。



自転車の反射器を確認

佐竹高校生徒会の皆さんなどが安全運転を呼びかけた



さとみ春の味覚祭

5月4日、恒例の「さとみ春の味覚祭」が里美ふれあい館イベント広場で開催されました。前日は悪天候で中止になりましたが、4日は小雨の天気ながら3千人のお客さんで賑わいました。

会場では、特産物即売会や手打ちそば実演販売、里美牛乳コーナー、地域おこし協力隊が地元特産物を利用して作った甘酒ミルクプリンなどが販売されました。

また、ステージ上では、お笑い&歌謡ショーやおかめ・ひよっこ踊りが披露され、地元から提供された特産品やもち・菓子などが来場者にプレゼントされました。

おかめ・ひよっこ踊り



人気の手打ちそば



春友町ハイキングコースのベンチ整備

5月26日、春友彫刻の森運動公園にて、春友町の皆さんや、春友の大沢の滝保全隊の皆さん、地元の子どもの会の皆さんなど約30人で、お手製のベンチ10台を作り、春友町ハイキングコースに設置しました。

ベンチ作りは、町会長・武藤征也さんの指揮のもと、大人たちがベンチ部材を組み立て、組み上がったベンチに子ども達がペンキを塗りました。中には組み立て作業に興味のある子どもたちが、道具を片手に大人顔負けで作業に取り組む様子も見られました。

このハイキングコースは、平成20年度から地域で整備活動を行っており、全長約4km。春友彫刻の森公園や大沢の滝など、里川の風景を楽しむことができるコースとなっています。

今後は、随所に解説板の設置や散策マップづくりも考えており、さらにはハイキングコース整備をきっかけに、地域の資源を見つめ直し、より良い地域づくりをみんなで目指すこととしています。



武藤町会長指揮のもとベンチ作製スタート



将来は大工さんになりたいなあ？



ベンチはどうやってつくるのかなあ？



上手にできるかな？



ベンチ作製が終わり、今度はペンキ塗りの作業



慎重に塗らないと



作製したベンチは、春友町ハイキングコースへ

ちょっと寄り道

今月は西河内中町



町内の守り神、天満神社



西河内を通っている市道沿いの大鳥居をくぐって、石段を中程まで登ると中鳥居があり、115段を登りきると森の中に天満神社が見えてきます。元禄3年（1690）に徳川光圀公の命で建立され、多くの参拝者で大変賑わったそうです。祭神は学問の神様である菅原道真公。ご神体の天満天神像は

全国でも珍しい木造神像で県指定文化財です。春と秋の例祭のときだけ拝することができ、地域住民の心のよりどころとなっています。

2km程先にある映画「ディア・ドクター」のロケ地とあわせて、新緑を眺めながらの散歩コースにお勧めです。

にしごうとなか
来月は西河内中町の「か」つながりで、かきわ堅磐町さんをお願いします。



紹介者
西河内中町
片根 二郎さん



ひたちおおたの文化財見どころガイド

問文化課文化財係
(72-3201)

例年 10 月に行う「集中曝涼」^{ばくりよう}。今年も 10 月 20 日土 ~ 21 日日に開催します。



東染郷倉 (市指定文化財)



東染村御縄打帳 (市指定文化財)

ココも見どころ

東染に伝わる文書のひとつには、水戸学の高名な学者である「藤田東湖(虎之介)」の署名があります。お見逃しなく。

東染町に残る茅葺の小さな倉庫は、江戸時代後期の文政 9 年(1826)ごろに、水戸藩が飢饉に備えるために設置した「郷倉」とよばれる建物です。稗や粟などをこの郷倉に貯蔵し、食料難の際には農民に貸し付けて難を逃れました。郷倉の多くは明治時代に取り壊されましたが、ここ東染郷倉は当時の形のまま残されています。

現在郷倉の中には、東染に伝わる江戸時代初めからの古文書が納められており、そのひとつ、市指定文化財「東染村御縄打帳」は寛永 18 年(1641)のもので、3冊が残されています。縄打帳は検地帳の別名で、田畑一筆ごとの所在地、縦横間数、面積、耕作人などが記されており、市内で現存しているのはこの地だけです。

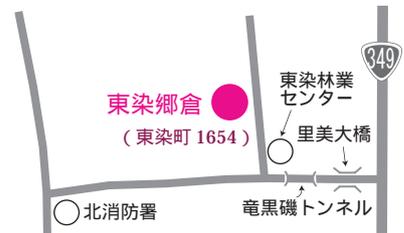
集中曝涼では、郷倉に近い東染林業センターを会場として、東染地区に伝わる数多くの古文書類が地元東染町会の方々のご協力によって公開されます。ぜひお立寄りください。

*「曝涼」とは、文化財を日にさらして風を通す、いわゆる虫干しすることで、それにあわせて文化財を一般公開します。

飢饉に備える知恵

東染郷倉

(東染町)

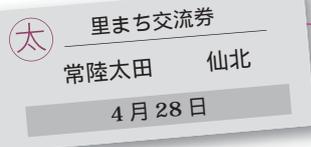


里 ⇄ まち交流掲示板

仙北市で常陸太田の物産・観光をPR

4月28日、友好交流都市の仙北市で「角館さくらまつり」が開催され、本市からもそばや巨峰を使った加工品などを販売したり、特産品のPRを行いました。会場となった武家屋敷周辺のしだれ桜は二分咲きながらも、多くの観光客で賑わい、本市ブースの震災写真展示でも足を止めて見入る人の姿が見られました。9月には本市から、秋田市・仙北市を訪問する市民交流団も企画されており、一層活発な交流が期待されます。

*市民交流団への参加については、お知らせ版5月25日号をご覧ください。



- ⑤常陸太田の物産は観光客に人気
- ⑥被災状況の写真に見入る
- ⑦武家屋敷としだれ桜

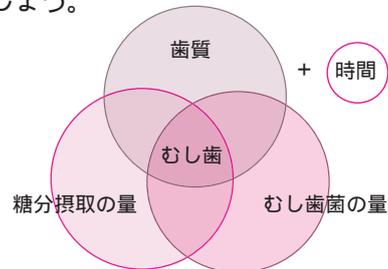


『歯みがきは しょうぶなからの 第一歩』

健康な生活を送るためには、自分の歯でおいしく食べられることが大切。それには、乳幼児期からの「お口」のケアが重要です。「むし歯の予防」について正しく理解し、実践していきましょう。

むし歯ができる三つの要因

むし歯は、「むし歯菌の量」「糖分摂取の量」「歯質」の三つの要因に「時間経過」が加わることで次第に進行していきます。むし歯予防には、この三つの要因が重なっている時間をいかに短くするかが重要です。



むし歯のできかた

食べかす（糖分）が口の中に残る

むし歯菌が糖分を分解し、口の中に酸ができる

歯を溶かす

むし歯の発生



むし歯予防対策

その1 食べ物対策



子どもが欲しがるままに甘いお菓子や清涼飲料水を与えたりすると、極めてむし歯になりやすくなります。おやつは食事で不足した栄養を補うものです。乳製品やいも類、果物などなるべくお菓子ではないものにしましょう。

また、だらだら食べるとお口の中が酸性になるため、むし歯が発生しやすくなります。食事やおやつの時間はきちんと決めましょう。

その2 細菌対策

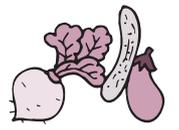


正しいブラッシングで、むし歯菌のすみかになるプラークを取り除きましょう。食べ物のカスがついたまま数時間経つと、歯の表面ではむし歯菌が繁殖するため、食べたら歯を磨く習慣を身につけましょう。特に寝る前の歯みがきは、必ず行いましょう。

その3 歯質対策

歯を強くする「フッ素の利用」

フッ素には、歯を丈夫にして、むし歯になりにくくする作用があります。フッ素入りの歯磨き剤を使う方法と、フッ素を歯の表面に塗る方法がありますので歯科医院に相談しましょう。むし歯の予防とお口の健康のために、かかりつけ医をもち、定期的に健診を受けましょう。



農業のチカラ



川野 隆 さん
あい子さん
(天神林町)

食を支える農業にスポットをあて、農業者の皆さんの意気込みを伝えていきます。



朝市での川野さん夫妻

定年を機に野菜づくり

夫婦2人で、畑45アールほどで露地野菜を中心に作っています。
定年退職後、市の定年帰農者講習会を受講し、野菜作りを始めました。畑は家から少し離れたところにあり、6カ所ほどに分かれているので手入れは大変ですが、野菜作りを楽しんでいます。

主な作物は、サツマイモ(干し芋用)、白菜・ねぎ・ほうれん草・キャベツ、なす・大根・トマトなど。
少量多品種(35種類)を心がけ、年間を通して出荷しています。主な販売先はかわねや木崎店・市役所での朝市

や市のイベントなどです。

特に干し芋は、店頭に出さなくてもほとんど口コミで売れてしまうほど好評です。

また、「安全・安心」のため、有機肥料を使った土作りや、防虫ネットなどを使い減農薬を心がけています。パソコンで野菜の管理台帳をつけ品質管理もしています。

野菜嫌いの子どもでも

朝市等で野菜を販売し、お客さんから「甘かった、美味しかった」と良い評価を受けるとすごく嬉しいし、やりがいも出てきます。

また、話をしていると、お客さんの求めているものがわかり、喜んでもらえる良い野菜を作り提供しようと思えますね。一番嬉しかったのは、友達の孫がうちの野菜を食べて野菜嫌いが直ったことです。

これからも健康に気をつけて、長く続けていきたいと思っています。



自慢の白菜畑で



朝市でも人気

【連載】

二孝女物語 第七卷

問 文化課エコミニージウム
推進室(内線541)

二百年前、約千二百kmを旅した親孝行姉妹がいた...

枕石寺の西天和尚と二孝女

「つゆ」と「とき」は、父の看病で青蓮寺に滞在している間、親鸞聖人ゆかりの地を訪ね歩きました。枕石寺(上河合町)の西天和尚の法話「聖天子舜王」を聞いて涙したという逸話も残っています。また、二人が父を連れて臼杵に帰る際には、河合神社で道中の安全を祈願し、神楽舞を披露してもらったそうです。

地域の民話や史実などを調べている石月ひろ子さん(中城町)にお話を伺うと、姉妹が涙した「舜王」は、中国の伝説上の王様。母を早くに亡くして、継母と父親と暮らしていたが、父親から良く思われず殺されそ



「時代背景や史実は民話に力を与える」と話す石月さん◎



「豊後国二孝女物語」は、江戸時代後期の実話で、豊後国臼杵(現大分県臼杵市)の若い姉妹「つゆ」と「とき」の親孝行物語です。

姉妹の父・初右衛門は、親鸞聖人遺跡巡拝の旅の途中に病気になり、青蓮寺(本市東連地町)で手厚い看護を受けました。

姉妹は、その父を迎えるために、約300里(約1200km)離れた常陸国への旅に出発。

豊後国臼杵から青蓮寺までの約2カ月、様々な危機を乗り越えた姉妹は、7年ぶりに父と再会を果たします。

65才以上の方の

介護保険料が変わります

介護保険事業計画（第5期）の見直しに伴い、平成24年度から26年度（3カ年）の65歳以上の方の介護保険料（基準月額）が、3650円から4240円に変わります。

今回の見直しでは、介護

サービス利用の増加や特別養護老人ホームの待機者解消を図るための施設整備、その他の介護サービス事業所整備、介護報酬改定などが主な内容となっています。また、低所得者の負担軽減を図るため、第3段階に新たな軽減の所得段階を設けています。

155)

問 高齢福祉課（内線

保険料の納め方

公的年金が年額18万円以上の方

年金から差し引かれます。【特別徴収】

*前年度に普通徴収だった方も、随時、特別徴収へ切り替わります。

公的年金が年額18万円未満の方、または年度の初め（4月1日）の時点で65歳になっていなかった方、年金を受給していなかった方など納付書で個別に納付していただきます。【普通徴収】

保険料の納め方は、介護保険・長寿医療とも同じです。

平成24年度～26年度の保険料

所得段階	対象者	保険料（年額）
第1段階	生活保護受給者 老齢福祉年金受給者で世帯全員が市民税非課税の方	25,500円
第2段階	世帯全員が市民税非課税で「合計所得金額+課税年金収入額」が80万円以下の方	25,500円
第3段階（軽減）	世帯全員が市民税非課税で第2段階以外	「合計所得金額+課税年金収入額」が120万円未満の方 35,600円
第3段階	同上	「合計所得金額+課税年金収入額」が120万円以上の方 38,200円
第4段階（軽減）	世帯員に市民税課税者があり本人は市民税非課税	「合計所得金額+課税年金収入額」が80万円以下の方 45,300円
第4段階	同上	上記以外の方 50,900円
第5段階	本人が市民税課税で合計所得金額が190万円未満の方	63,600円
第6段階	本人が市民税課税で合計所得金額が190万円以上の方	76,400円



長寿医療制度の

保険料が変わります

平成24年度および25年度の保険料率と賦課限度額が次のとおり改定されました。

長寿医療制度の保険料率は県内一律で、医療費の動向をふまえて2年ごとに見直されます。

なお、本年度の保険料は7月下旬に通知します。

問 介護年金課（内線117）
県後期高齢者医療広域連合（0293091213）

		平成24・25年度	平成22・23年度（参考）
保険料	均等割額	39,500円	37,462円
	所得割率	8.00%	7.60%
保険料の賦課限度額（上限額）		55万円	50万円

【保険料の計算方法】

$$\text{保険料額} = \text{均等割額} + \text{所得割額}$$

$$= 39,500 \text{円} + \left(\text{前年中の総所得金額等} - 33 \text{万円} \right) \times 8.00\%$$

*世帯の所得水準により、所得割・均等割が軽減されます。

平成24・25年度の保険料の具体例

年金収入	【単身世帯保険料】 本人の収入が年金収入のみの場合		【2人世帯保険料】 世帯主（夫）の収入が年金のみで、妻に収入がない場合（ともに長寿医療制度の被保険者）		
	均等割額の軽減割合	保険料	均等割額の軽減割合	世帯主（夫）の保険料	世帯員（妻）の保険料
80万円以下	9割	3,900円	9割	3,900円	3,900円
153万円	8.5割	5,900円	8.5割	5,900円	5,900円
190万円	2割	46,400円	5割	34,500円	19,700円
201万円	2割	50,800円	2割	50,800円	31,600円
250万円	無し	117,100円	無し	117,100円	39,500円



地域おこし協力隊がゆく!!

つながりぼん

私たちが地域おこし協力隊です！
【 】は勤務先



篠川 貴吏子 【里美支所】 白石百合乃 【里美支所】 長島 由佳 【里美支所】 石川 明紗 【里美支所】 野崎 真衣 【金砂郷支所】

地域おこし協力隊プロデュース

第6回「里美の日」を開催 ★

5月13日の「里美の日」では、恒例のメニューに加え、特別企画として、ニジマス釣り・葉ワサビ摘み体験・搾りたて牛乳試飲・里山俳句ing & カブトムシの幼虫とり体験など過去最多のイベントで盛り上がりました。

参加した方からは、「茨城にこんなに良いところがあったんだ!」との声も聞かれ、里美の魅力に触れてもらうことができました。

特製「甘酒ミルクプリン」を販売 ★

5月4日、「さとみ春の味覚祭」に参加し、協力隊手作りの「甘酒ミルクプリン」を販売しました。地元の酒蔵の酒粕を使ったこのプリン、レシピも酒蔵の奥さん直伝! 食べる前は、「どんな味...?」と不思議がっていたお客さんにも、「おいしい!!」と高評価をいただきました。

里美の日って?

毎月第2日曜日に開催している、里美地区の元気を発信し、魅力を再発見する日です。住民の「地域のために何かしたい」という思いから生まれました。

里美地区にあるお食事処、旅館、パンやお菓子の店、農園、酒蔵などが、少しずつ自分たちができるおもてなしをしています。



里川町の釣堀で、ニジマス釣れたかな?



上深荻大菅町会の水力精米所で精米したお米を使った、「塩おむすび」。その味と輝きに感激!



甘酒ミルクプリン、実はおいしいです



次回の里美の日は7月8日(日)。皆さんのお越しをお待ちしております(´▽`)♪

Information

毎月第3日曜日は家庭の日

平成23年度常陸太田市家庭の日推進募集標語 優良賞

ねむるとき

ままのねいきも

こもりうた



[小学1・2年生の部] 久米小1年(受賞時) 井坂 未来

県内の観光スポットや特産品を紹介するテレビ放送

「磯山さやかの旬刊! いばらき」

毎週金曜午前10時50分頃から、テレビ朝日「若大将のゆうゆう散歩」内で放送中!

常陸太田市のホームページでこの放送がご覧いただけます。トップページ下の専用バナーをクリック!

第5回

久慈の杜100km徒歩の旅 チャレンジする小学生

募集!



『久慈の杜100km徒歩の旅』は、小学生がボランティアスタッフのサポートにより、常陸太田市・常陸大宮市・大子町の3市町、100kmの道のりを、4泊5日をかけて自分の足で歩きぬく体験型青少年育成事業です。

この試練を自分の力で乗り越えることで、何事もやればできるといふ強い精神力が宿ることでしょう。

とき 8月8日水～12日日
行程 常陸太田市～常陸大宮市～大子町～常陸太田市
対象者 小学4～6年生
(先着順60人予定)



suzukiyasuyuki1129@gmail.com

問 常陸太田青年会議所
「久慈の杜100km徒歩の旅」団長 鈴木康之
090 1054 3772

参加費 2万3千円(三度笠、記念Tシャツ、記録ビデオ、保険、事業行程中の食事代など)
申込方法 市内各小學校で配布される応募用紙に必要事項を記入し、お申し込みください。
申込期限 6月25日月

身体障害者相談員・知的障害者相談員の皆さんをご紹介します

障害のある方やその家族から相談をお受けします。助言や指導を行い、障害のある方の活動を支援します。本市の身体障害者相談員・知的障害者相談員は次のとおりです。お気軽にご相談ください。

(敬称略)

氏名	住所	電話番号
身体障害者相談員		
高木 昇	栄町	
松本 克一	木崎一町	
内井香恵子	幡町	
和田 守男	岩手町	
知的障害者相談員		
篠崎 彰良	宮本町	
見代 三郎	小妻町	
山本 寿江	国安町	
岡崎優美子	赤土町	

問社会福祉課障害福祉係(内線 143・162)

人権擁護委員の皆さんをご紹介します

人権擁護委員は、皆さんの人権が侵されないように注意を払い、もし人権が侵された人がいたときは、その解決に努めます。本市の人権擁護委員は次のとおりです。お気軽にご相談ください。

(敬称略)

氏名	住所	電話番号
大森 眞一	栄町	
生天目 操	下利員町	
沢幡 幸雄	稲木町	
高橋 静子	大森町	
大畠 正芳	幡町	
荷見紀世美	下高倉町	
大須賀 治	西染町	
根本 肇	沢目町	
豊田 洋子	小妻町	
大曾根民子	花房町	

問社会福祉課社会福祉係(内線 141)

温かいご支援・ご協力、
ありがとうございます。

皆さんからいただいたご厚意は、
大切に使用させていただきます。

ふるさと常陸太田（平成24年3月9日～5月8日
受入分 順不同）

ふるさと納税により、寄附をいただいた方です。

日座正則様（市内天神林町）100万円（歴史・

文化）

匿名の方（ひたちなか市）5万円（指定なし）

匿名の方（水戸市）5万円（指定なし）

匿名の方（水戸市）50万円（指定なし）

東日本大震災義援金（平成24年4月24日～5月

21日受入分 順不同）

個人

Georg Town 酒向誠吾

様 9140円

団体・法人

絆友の会様 6万1千円

義援金累計

9759万2608円

善意ありがとうございます（順不同）

横山亮次様〓市内小中学校10校へ理科教材

庄司敬一様〓学校図書購入費用として20万円

綿引慎記様〓市内全小学校にカワセミの写真と

額縁一式



切り取り線

広報ひたちおたアンケート用紙（情報政策課広報広聴係あて）

「広報ひたちおた」について、市民の皆さんのご意見をお寄せください。
お寄せいただいたご意見は、今後の広報紙づくりの参考にさせていただきます。



< 質問内容 > 番号に をつけてください

性別	男	女	年齢	19歳以下 60～79歳	20～39歳 80歳以上	40～59歳
質問1	広報紙は普段からよく読みますか？ よく読む さっと目を通す程度 あまり読まない					
質問2	毎月の広報紙で関心があるコーナーは何ですか？（いくつ選んでも可） 特集 おめでとうございます エコミュージアム通信 二孝女物語 トピックス つながりぼん 健康でいこう 文化財見どころガイド 農業のチカラ 防火クラブ・消防団紹介 インフォメーション まちの話題 てくてくウォーク 園児たちのギャラリー ボランティアがんばってます！ 子育て応援広場					
質問3	広報紙で掲載してほしい記事やコーナーがあれば記載してください。					
質問4	広報紙全般について、ご意見があれば自由に記載してください。					

< 回答方法 >

アンケート用紙を切り取って、最寄りの公共施設のアンケート回収ボックスに入れていただくか、ファクシミリ（72-3002）でお送りください。二次元コードを認識できる携帯電話をお持ちの方は、右の画像を読み取ってアンケートサイトから回答することもできます（通信料がかかります）。



切り取り線

茅根町で自然薯の植え付け

5月26日、茅根町自然薯研究会（江幡隆雄会長）による**自然薯オーナー制の種芋植え付け**が行われました。

旧佐都小に隣接した畑には、市内のほか土浦市や東京都からオーナー24人が集まり、研究会の会員8人の指導のもと、自然薯の種芋を植え付けました。

江幡会長は、「研究会発足から約10年。失敗を繰り返し、ようやく人前に出せるような自然薯ができた。3年前から始めたオーナー制も、年々数が増えてうれしい限り。今後は、オーナーから預かった自然薯を大事に育て、11月には収穫祭を実施し、オーナーの喜ぶ顔が見たい」と話していました。



④参加者全員で記念撮影
⑤植え付けを行うオーナーと研究会員



常陸太田「自酒」プロジェクト

このプロジェクト（山口景司代表）は、酒造りを通して地域の特産品を生み出し、農業・産業の活性化を目指すため、地域の有志により今年1月に始動。5月12日には、芦間町で**酒米・美山錦の田植えと御田植祭**を行いました。

御田植祭では、おいしいお米になるように、常陸太田大使「竜馬」がヴァイオリンを生演奏。

今後、日本酒の勉強会、秋の稲刈り、製品のデザイン募集、酒造り等を予定しています。



酒米・美山錦の田植え



常陸太田大使「竜馬」のヴァイオリンライブ

御田植祭・田植え体験学習

5月17日、西山荘で「**光圀公御前田御田植祭**」が行われ、太田進徳幼稚園の園児たちが田植えを行いました。光圀公が自ら耕したと言われる御前田で子どもたちは泥だらけになりながらも1本1本丁寧に苗を植えていました。園児たちは「早くおいしいお米にならないかなあ」と楽しそうに話し、見守る大人たちの笑いを誘っていました。

5月16日、世矢小（萩庭宏信校長）の5年生43人が、「**田植えの体験学習**」を行いました。これは毎年、世矢公民館・老人クラブと合同の3世代ふれあい事業として行っているもの。裸足で田んぼに入った児童からは「何かいる」「泥ってあったかい」との声。その後地域の方から指導を受け真剣に苗を植えていきました。

5月27日、大方町の鹿島神社（多賀谷謙豊宮司）で、伝統の「**御田植祭**」が行われました。

豊穰を祈願し、神前に御供えする米を栽培するためのもので、大勢の観客が見守る中、浅川沿いの「御神饌田（ごしんせんでん）」に、丁寧に苗を植えました。



太田進徳幼稚園

「上手に植えたよ！」



一緒に田植えをした大久保市長と



世矢小学校

指導を受け良い手つきに



恐る恐る田んぼに入る



鹿島神社

田植えをする「早乙女」は小学生から90歳代まで幅広い

藤の花が見事に咲きました

5月中旬、本多技研さん宅（増井町）の藤の花が見ごろを迎えました。今年は息子の雅樹さんがぶどう園の仕事の合間に1人で剪定を行ったそうです。藤園は誰でも見られるよう開放。花の種類が多く1週間ほど見ごろが続きました。

また、茅根一之さん宅（中利員町）の樹齢100年を超える藤の花2本も見事でした。昨年は東日本大震災で1本が倒れ傷みましたが、手入れを続け今年も見事に花を咲かせました。この藤の花を見に今年も大勢のお客さんが訪れました。



本多さん宅の藤園



茅根さんと藤の花

布遊がパッチワークで町おこし

広報4月号の表紙を飾ったウサギの雛人形を制作したグループが「布遊」です。5人のグループで、3年ほど前から活動を始めました。古い「布」と「遊ぶ」というイメージから布遊と名付けたそうです。

何か町おこしの手伝いがないかと3月のスロータウン鯨ヶ丘雛まつりで雛人形を作りました。もうすでに来年の雛まつりに向けて、作成を開始しているそうです。



㊤メンバーの皆さん ㊦作品

TV番組「キッチンが走る！」のロケが行われました

5月22～23日、NHK総合テレビの「キッチンが走る！」のロケが市内で行われました。

「春の野菜」をテーマに、杉浦太陽さんと料理人山本秀正さんが、1泊2日で市内を「キッチンカー」で走り、食材探しの旅をしました。

里美地区で旬の農産物を探しながら生産者と交流し、集めた「ふき」や「しいたけ」、「キャベツ」や「たまご」を使って、翌日創作料理でお世話になった方たちをもてなしました。

この番組は、6月15日(金)午後8時から放送予定です。



中野林平さん宅でしいたけを取材



キッチンカーで調理

カワセミの写真を小学校に寄贈

4月13日、退職してからカメラを始め79歳になる現在も趣味として写真を続けている綿引愼記（ちかふさ）さん（真弓町）から、市内全小学校（14校）に額装された瑠璃色に輝くカワセミ（市の鳥）の写真が寄贈されました。

綿引さんは、「『カワセミ』を知らない子が多い。親も昆虫のセミと間違えることがあります。カワセミがいる素晴らしい自然環境は、市民の誇りですね」と話していました。



カワセミが魚を捕らえた写真と綿引さん

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。



常陸太田市文化課エコミュージアム推進室（内線 541）

上河合町ハイキングコース 距離：約5km 所要時間：2時間

今回の上河合町は、平坦で歩きやすい、まさにてくてくウォークにうってつけの場所です。久慈川の流れに抱かれながら、防人の碑や枕石寺、河合神社など史跡も多く、見どころがコンパクトにまとまっています。また、馬頭観世音や観音様なども多くあり、小学校周りは昔の平城の跡だった様子が見て取れます。河合駅で降りて2時間ほどの散策を楽しんでください。車の方は幸久公民館をスタート地点とするとよいでしょう。

によいりんかんのん

如意輪観音と子育て観音



道路改良で一箇所に集められた。

防火水槽

かえりみの像
(幸久小校舎前)



故郷を振り返る防人の像。幸久小では防人について学習している。

たけじゅ

宇野竹寿翁像(幸久小入口)



教育施設の充実に私財を投じ、地域の発展に貢献。平成20年に現在の場所に移設された。

如意輪観音



二体の観音像が収められている。



河合神社



徳川光圀公も見に来たという藤棚がある。

ちんせきじ
枕石寺



親鸞聖人(しんらんしょうにん)ゆかりの寺。二孝女とのつながりもある。

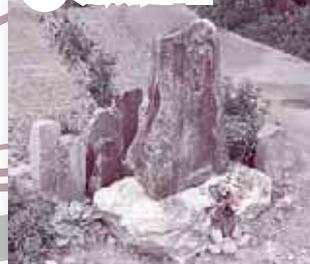
防人の碑

さきもり
防人の碑



防人が故郷を出る時に詠んだ歌で万葉集にも収められている。

ばとうかんぜん
馬頭観世音



牛馬などを祀る供養塔

ボランティア がんばってます！

第3回



『常陸太田まちかど案内人の会』

市の観光を支えるボランティア

『まちかど案内人の会』は、平成12年9月に結成され、現在41人の会員で運営しています。発足のきっかけは、まいづる塾・市生涯学習センターの共催による「案内人養成講座」を学んだ修了生が、観光ボランティアガイドを立ち上げたことによります。

主な活動は、西山荘をはじめ、市内の自然や文化・歴史遺産等の、観光客へのボランティアガイドです。

当初は、主に西山荘周辺のガイドを行っていましたが、本市が佐竹氏の発祥の地ということから、県立歴史館の先生を招いての勉強会で佐竹氏の歴史を学び、会員全体で案内できるようにしました。

また、年4回、生涯学習センターで市民講座「常陸太田探検講座」の講師も行っています。

昨年は、観光ボランティア県大会、巨樹巨木フォーラム全国大会、全国藩校サミットなどから案内・依頼を受け、活動の幅を広げました。

今後は、案内資料の再編成を行っていきたいと考えています。

また、通常は予約制ですが、梅まつり・ゴールデンウィーク・花菖蒲まつり・秋の紅葉の時期の週末は、西山の里桃源で予約なしで案内していますので、ぜひ声をかけてください。



『まちかど案内人の会』
会長の豊田正枝さん

『まちかど案内人の会』についてのお問い合わせは、
市観光物産協会（72-8194）へ

「広報ひたちおた」では、ボランティアに取り組んでいる方や団体を応援し、毎月ご紹介していきます！
問 情報政策課広報広聴係（内線 303・304）

園児たちのギャラリー

今月は「さとみ保育園」で〜す（^0^）/
年長さん（きりん組）♪

遠足のおべんとう

おにぎり、ウインナー、ハンバーグ、えびフライ・・・
大好きなものをぜんぶいれちゃった！
おいしそうにできたみんなのお弁当を乗せて、水族館へ出発進行！



ひたちおおたで楽しく子育て♪

子育て

応援広場



わかった！
それはきっと「ファミ
リ－サポートセン
ター」のことだね！

ねえ、こーたん、子育て中のお父さんやお母さんを応援してくれる人たちがいるって聞いたんだけど、詳しく教えてくれる？



広報広聴係でアルバイト中のカフセミの「こーたん」



保育サポーターが子育てをお手伝いしています

♡ ファミリー・サポート・センター

子育てをしていると、ちょっと助けてもらえば切り抜けられることってありますよね。お父さん、お母さん、家族が困っているそんなとき、助けてくれる人がいます！

ファミリー・サポート・センターでは、子どもの一時的な保育や、児童クラブ等への送迎、その他保育に関するお手伝いをしています。

利用会員（子育ての支援を受けたい方）として事前に登録することで、下記のようなサービスを受けることができます。

サービスの内容

- 保育園、幼稚園、児童クラブ等の送迎、終了後の預かり
- お母さん等のリフレッシュや外出時の預かり
- 産前産後のお母さんのお世話

利用料金 1時間 400円 以降30分ごとに200円
会費（利用した月のみ） 1月 100円



～ 協力会員も募集中～

保育に関するお手伝いをしてくださる協力会員の登録も募集しています。特別な資格は必要ありません。

サービスの利用と提供の両方を希望する場合には両方会員になることもできます。ぜひ登録して、みんなで力を合わせて、子育て中の家庭をサポートしましょう。

問ファミリー・サポート・センター「ほのほのおた」 72-4574
(社会福祉協議会内)

お母さんたちの育児をサポートする「ファミサポ」！
案外近くに助けてくれる人がいたんだね！



ありがとう、こーたん。
うちは共働きで実家も遠いし、
子どもを預かってほしいときに
困ってたの。早速問い合わせて
みるわ！



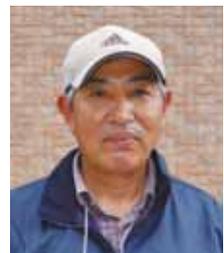
voice
短時間でも助かっています



田代 朝子さん・
美織 ちゃん（幡町）

自宅でピアノを教えている間、6か月の娘を預かってもらっています。子どもの成長を気にかけてくれたり、私のことも気遣ってくれて、とても助かっています。

voice
協力会員として充実した日々



野沢 信一さん
(幡町)

放課後児童クラブから、お子さんの自宅まで歩いて送迎しています。仕事で忙しいお父さんやお母さんの役に少しでも立てればうれしいですね。

表紙に「うちわを作っているところを撮らせてもらえますか？」とお願いすると、「はい、わかりました」と笑顔で答えてくれた坏 總子（ふさこ）さん。魔法のような手さばきであっという間に竹が編まれていきました。